

# スクリー型コンポストプラントによる有機性廃棄物・ 農業廃棄物のリサイクル事業 普及・実証事業 株式会社カワシマ(群馬県)

## スリランカ国の開発ニーズ

- 家庭ゴミの増加に伴い深刻化するゴミ処分場と周辺地域における悪臭と衛生問題の改善。
- 自治体における有機性廃棄物の発生抑制や再生利用事業の推進。

## 普及・実証事業の内容

- キャンディ県のクダサーレ地区にコンポストプラントを建設し、家庭ゴミと農業廃棄物により良質のコンポストが製造されることを実証。
- 現地自治体や住民に対する運転指導等の技術移転の実施。
- 環境モニタリングや実証データの分析を踏まえた事業モデルの策定。

## 中小企業の技術・製品



### 製品・技術名

—スクリー型コンポストプラント(発酵機械)「RA-X」。  
・有機性廃棄物と農業廃棄物に空気をまんべんなく通して攪拌し、高温好気性発酵と水分蒸散を促進し良質のコンポスト(堆肥)を製造。  
・メンテナンスが容易、維持費も安く経済的。

—有効微生物「BX-1」。  
米ぬかを主原料とし、堆肥の発酵を促進すると同時に、発酵中の悪臭を抑制する効果がある添加物。

## スリランカ国側に見込まれる成果

- 現地自治体と住民参加型によるゴミの分別収集、プラントの操業、コンポストの製造と販売に至るまでのリサイクル事業モデルの確立。
- 環境基準がクリアされた、有機性廃棄物処理プラントのスリランカ国内への普及。

## 日本企業側の成果

### 現状

- 国連の気候変動枠組条約(UNFCCC)のCDM(クリーン開発メカニズム)プロジェクトに同社製品・技術を日本で初めて登録。

### 今後

- 現地のニーズを踏まえコストダウンを図ったコンポストプラントのスリランカにおける内製化の検討とビジネスパートナーの選定。